

# 社会福祉法人柏崎刈羽福祉事業協会

## 令和4年度事業報告

※括弧内の元号表記は平成(h)、令和(r)とし、また数字、金額は半角文字とした

### I はじめに

3年以上続く新型コロナウイルス感染症に対し、徹底した感染対策を講じ、令和3年度まで職員3名の感染にとどまっていたが、感染力の高い変異株によって、令和4年度は職員116名が感染した。また、4つの施設(かしわ荘、おぐに荘、御山荘、なごみ荘)で延べ5回の集団感染が発生し、利用者199名が感染した。幸いにして、重度化する職員、利用者はいなかったが、これにより多くの職員が出勤停止(自宅療養)となつた。この間、お互いをフォローし合い、業務を遂行してくれた職員に感謝したい。

こうした中、令和4年度は、第3期中期事業計画(r3～r5)の2年目として、「新しい生活様式」「新しい日常」に対応すべく、全職員が創意・工夫を重ねることで、福祉・介護サービスの提供を継続することが出来た。しかし、老朽化が進む施設の修繕や整備、また、新型コロナウイルス感染症の影響を含めた福祉・介護サービスを巡る環境の変化による利用率低下など、難しい課題に直面している。

具体的には、経営状況を示す決算において、法人全体の資金収支差額は△3,067千円の赤字へ転落し、令和3年度との事業活動収入の比較では、介護保険事業収入が△23,687千円、老人福祉事業収入も△1,582千円の大幅な減少となつた。一方、生活保護事業収入は4,612千円の微増となつたが、これは、かしわ荘において、管理費特別加算(約21,473千円)が付与(4年に1回)されたからであり、もし、この加算がなければ、大幅な減収となつていた。

法人全体の預貯金(現金預金+定期預金)は1,069,784千円となり、前年度末残高よりも166,940千円の減額である。また、減価償却費を含むサービス活動増減差額は△101,177千円(前年度△26,735千円)で、経営成績を示す当期活動増減差額も△85,830千円(前年度△25,344千円)となり、かつてないほどの厳しい決算となつた。

この厳しい決算の第一の要因は、利用率の低下である。特に養護老人ホームでは、措置入所が追いつかず、利用者定員を80人から60人に縮小せざるを得なくなつた(r5.4.1付)。救護施設でも利用者が減少し続け、2つの施設の統廃合を検討する事態になっている。また、介護保険施設のデイサービスでは、利用率が定員数の50%を切るという月も発生した。

更に、追い打ちをかけるように不安定な社会状況がもたらす物価高騰により経費が増大し、特に電気・ガス料金においては、節約して使用量が減少しているにも関わらず、令和2年度実績との比較で45,266千円、令和3年度実績の比較でも32,968千円も増額となつた。

このような逆風の中、累積赤字となつていた柏崎市北地域包括支援センターにしやま(受託事業)の廃止、むつみ荘としおかぜ荘の各デイサービスセンターの日曜休業による赤字額の縮小、御山荘の定員変更及び要望活動による事務費単価アップ、更には、業務委託(給食・清掃・寝具リース等)契約の見直しによる経費削減といった経営改善を実行することが出来た。

また、慢性的な福祉・介護現場の人材不足の状況下においても、新卒の介護職員を6名採用することが出来た。加えて人材育成という面でも新潟県が主催する介護技術コンテストにおいて、最優秀賞を受賞するなど、介護職員の奮闘が目立つた。

今後もコロナ禍や物価高という課題に立ち向いながら法人の経営基盤の強化を図り、利用者の尊厳を守る地域の主たる福祉の担い手として、将来を見据えた福祉・介護事業を継続していく。

### II 事業計画執行状況の概要

#### 1 組織体制の充実

##### (1) 内部管理体制整備等

- (ア) 法人の経営理念、基本方針、職員行動規範を学ぶための動画を作成した。これを活用し、新採用職員(中途採用職員を含む)の採用時に動画研修を実施することで、コンプライアンスの強化を図った。
- (イ) 経営企画会議において、現状課題への対応に加え、各施設の利用率の推移を分析し、職種別会議と連携して、事業内容の見直しや措置費増額の要望活動に繋げた。

(ウ) 文書保存に関する規程について、令和3年度ワーキンググループを立ち上げて協議を重ねた結果、令和5年1月1日より新規程を制定し、運用を開始することが出来た。なお、新規程では、「電子取引データ保存」についても規定したが、これについては、当該データの状況を見極めながら、引き続き検証を進めていく。

#### (2) 本部体制の強化

本部体制の強化の一環として、おぐに荘で行う「措置費請求」業務について、4月より本格的に本部に移行することで、施設事務職員の適正配置(正職員1名をパート職員に変更)を実施した。また、8月には各施設で毎月行う業者支払業務を本部で一括振り込みとし、業務改善を行った。振込手数料の削減と併せて、施設事務職員の負担軽減に繋げた。

#### (3) 会議の効率化

新型コロナウイルス感染対策として、各種会議をオンラインで実施したが、感染防止とともに、業務の効率化にも繋げることが出来た。中でも事務担当者会議においては、年5回のうち、4回をオンラインで開催したことによって、災害時でのオンライン対応の可能性も広がったと考えている。

#### (4) 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症については、新潟県の通知や柏崎市内の感染状況の変化に応じ、感染予防対策を講じてきたが、令和4年度は、職員116名、利用者199名が感染した。この感染に対し、感染時における初動マニュアルを発動し、施設と本部で連携し合い、保健所等の指導のもと、的確な対応を行うことが出来た。なお、4つの施設における集団感染により業務上罹患し、治療費等が発生した職員27名について、労災保険給付の請求を行った。

## 2 適正な財務管理

#### (1) 介護報酬改定への対応

令和3年度創設の科学的介護推進体制加算(LIFE)への対応について、3特養で課題を整理することとしていたが、利用率の低下に伴う業務見直し等を優先課題として取り組んだため、令和5年度以降に持ち越すこととした。今後は次回(令和6年度)介護報酬改定を見据えながら、科学的推進体制加算(LIFE)を含めた新たな加算及び上位加算の取得について、検証する。

#### (2) 法人本部運営資金繰入の見直し

各施設の資金収支差額が減少し、特に法人(本部)運営資金の繰入れが困難になっているため、令和5年度より本部の人員(役員)体制を見直しすることとした。しかし、根本的には、各施設の資金収支差額を増加させることが最優先であるため、各事業の見直しが急務である。

#### (3) 業務委託契約等の見直し

電気、ガス、食材料費、日用品等、様々な物価高騰を受け、当法人が取引する業務委託業者より、値上げの要望が相次いだ。これに対し、寝具類賃貸借業務については、入札を実施して適正価格での取引としたこと、給食業務は、2施設を一括取引としてプロポーザルによる選考を実施したこと、清掃業務は、清掃回数や仕様の見直しを行ったことなど、令和5年度契約において、業者提示額より、総額(年額)14,000千円の経費削減に繋がることが出来た。

#### (4) ケアハウスしおかぜの電気料金等の見直し

燃料費高騰を受け、ケアハウスしおかぜの利用者から徴収する光熱水費について、当法人の内規に基づき、令和5年3月8日に利用者に説明し、令和5年度より電気・ガス・下水道料金を値上げすることとした。1人あたり平均で1か月、約1,433円の増額となる。これにより、施設では年額400千円相当の增收に繋がるが、利用者負担が増えるという苦渋の選択となつた。

### 3 福祉サービスの向上

#### (1) 成果に繋がる会議と内部業務監査の取組み

- (ア) 次長会議の代替として、令和4年度より種別(措置施設・介護保険施設)会議を開催し、措置施設では、利用者減に対する検証、介護保健施設では、デイサービス事業の見直しなどを行い、法人が直面する様々な課題の整理を行った。令和5年度も継続し、利用率の維持・向上に繋げる対策や将来の事業の方向性を検討する。
- (イ) 内部業務監査について、介護職員の不足により時間を割けない状況にあるため、監査内容を簡素化し、実施することとしていたが、法人内で新型コロナウイルス感染症の集団感染が発生したため、急遽中止とした。

#### (2) 実践・研究の取組み

福祉サービス向上を目指し、全施設で日常業務での実践や取組みを事例発表会という形で、これまで実施してきたが、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症への対応を優先することから、やむを得ず簡素化及び縮小する方向で進めることとした。しかし、結果的に全施設で34チームの先進的な事例が発表されるなど、改めて職員のマンパワーを感じる素晴らしい機会となつた。

#### (3) 介護記録の電子化の導入による効率化等

法人施設において、Wi-Fi環境を整え、介護記録の電子化(タブレット等)を令和3年度から順次導入した。これにより、福祉サービスの向上とともに、職員の記録の負担軽減に繋げることが出来た。また、この取り組みが評価され、柏崎市が発行する「広報かしわざき(15.3月号)」に掲載された。今後もこの記録電子化をはじめとしたICT導入(見守り機器・インカム等)について、検証を重ねていく。

### 4 人材確保、育成、定着への体制づくり

#### (1) 人材確保

- (ア) 大学、専門学校等への早期アプローチを行い、リモートによる説明会、施設見学を実施した。また、ホームページでの広報や地域の情報誌「ジモクラ」に法人情報を掲載するなど、様々な活動を展開した結果、令和5年4月1日付採用の新卒(大卒4名、専卒1名、高卒1名)者6名(介護員)を確保することができた。また、年度途中に一般応募による介護員、管理栄養士各1名も採用した。しかし、採用計画の介護員10名を達成することができなかつた。引き続き、積極的な広報を行い、介護(特に夜勤が出来る)職員の確保に努める。なお、当法人の準職介護員について、令和4年10月1日付けで2名、令和5年4月1日付けで1名、計3名を正職員に登用した。

- (イ) 専門学校生等の介護実習の受入については、採用に繋がる可能性が高いため、法人として力を注ぎ取り組んでいる。中でも実習生が在籍する学校での「実習報告会」に、施設の実習担当者が出席して、情報を共有し、学校との繋がりを強化する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の集団感染が相次ぎ、実習報告会への参加は1件のみであった。

- (ウ) 既に取得している2つの(特定)介護職員待遇改善加算に加え、令和4年10月実施の臨時介護報酬改定により「介護職員等ベースアップ支援加算」が創設されたことを受け、複雑化する職員待遇について見直しを行い、令和4年6月24日の理事会において、職員給与規程を改正し、資格手当(月2,000円から4,500円)の増額を図った。また、賞与一時加算金については、6月賞与時に介護保険施設に従事する介護職員のみを対象として一律4,000円を支給した。しかし、経営状況の悪化から12月賞与時の一時加算金は支給することが出来なかつた。

#### (2) 人材育成

- (ア) 令和3年度から2年間にわたり、中堅職員(14名)を対象に「リーダー育成研修」を実施した。この研修は2年間、同じ職員が受講する形式だったが、コロナ禍の中、全日程(計6日間)を全員が欠席することなく、リーダーとしての考え方、捉え方を学ぶことが出来た。今後の活躍に期待したい。なお、この研修の費用の一部は、厚生労働省「人材開発支援助成金(計686千円)」を活用した。

(イ) 令和4年10月29日に新潟県主催の「第6回新潟県介護技術コンテスト」が新潟市で開催され、むつみ荘職員2名(入職2年目と3年目)が出場し、「移動移乗ケア」部門で最優秀賞(1位)を受賞した。これは、日頃より先輩職員等が人材育成に取り組んだ結果であると評価している。今後も日常業務をとおし、職員が介護技術やコミュニケーション技術を学べるよう取り組んでいく。

### (3) 人材定着

(ア) ストレスチェックによる施設ごとの集団分析をもとに、令和4年8月26日に専門の講師を招き、各施設の衛生管理者等20人の職員を対象に研修を開催した。研修では、集団分析結果の見方を学ぶとともに、自施設の傾向性をグループワークにより分析し、更にはストレス軽減に繋がる先進的な事例を紹介していただいた。研修後、職員休憩室を快適にする取り組みや書類の整理整頓を行うなど、職場環境改善に繋がった施設もあった。職場環境の改善は、人材定着にも効果が期待できるため、今後も集団分析を継続していく。

(イ) 療養休暇後に休職となる職員の復帰を支援するため、その職員にあたリハビリ就業をこれまで試行錯誤しながら実施してきたが、その効果もあって復帰できる職員が増えた。そのため、法人として、リハビリ就業は職員定着の重要な取り組みとして継続することとし、令和5年2月13日の理事会で就業規則を改正し、その実施について明文化した。ただし、実施方法の詳細は、職員個々の事情により、柔軟に対応したいことから内規として定めた。今後も職員が安心して長年勤められる環境を整えていきたい。

## 5 広報戦略

### (1) 魅力あるホームページの更新

令和3年度に法人ホームページに加え、職員採用のための専用サイトを開設した。そのサイトを活用し、特に新卒者や若い世代に向け、理事長ブログの発信や、適宜施設の行事等を掲載するなど、情報提供に努めた、また、アクセス解析を年2回行い、アクセス数の多いページや滞在時間などを分析し、その傾向性を掴み内容を改善した。

## 6 地域貢献の取組み

### (1) 地域における公益的な取組み等

(ア) 介護保険施設では社会福祉法人利用者負担軽減を実施し、生活困窮者等に対する無料・低額な福祉サービスを継続した。なお、救護施設ではホームレス等の受入れ(一時入所等)を可能としているが、令和4年度の実績はなかった。

(イ) 新潟県社会福祉法人経営者協議会で実施する「にいがたセーフティネット事業」に参画し、生活困窮者における生活援助を継続した。

### (2) 施設機能を活かした取り組み

なごみ荘デイサービスセンターの送迎車輛の空き時間を利用し、柏崎市中通地区の高齢者(くらしのサポートセンター登録者)を対象とした「買物外出送迎支援(無料)」について、覚書を交わしたうえで、年9回にわたり実施することが出来た。利用した高齢者は、実人数19人、延べ人数では55人に達した。利用した方から好評をいただいたこともあり、令和4年12月には「柏崎日報」に、その活動の様子が掲載された。令和5年度も継続する予定である。

## 7 災害対策の取組み

### (1) 大規模災害への備え

令和3年度に導入した災害時におけるシステムを利用し、合同(全施設)避難訓練を令和4年11月29日に実施した。訓練では最大震度6強を想定し、パートを除く法人職員335人にメールを一斉送信し、応答が確認できたのは286人(応答率85.3%)だった。なお、未応答だった職員は、主に産休、育休者、あるいは前日の夜勤者だった。また、訓練では、災害対策本部を設置し、全施設の被災状況や利用者の安否確認をシステムにより情報の共有を行った。訓練後の検証において、様々な反省点や改善事項があがったため、検証結果をもとに、事業継続計画(BCP)と連動した訓練を令和6年度以降に実施する。

## (2) 原子力災害への備え

原子力災害時になごみ荘の利用者が避難する新井頸南福祉会(妙高市)と、令和3年度協議を行い、なごみ荘定員80人のうち、50人まで受け入れ可能であることを確認した。令和4年度に入り、残りの30人について、新潟県が調整を行った結果、上越老人福祉協会(上越市)とマッチングすることができた。今後、避難時の運行表(東京電力の車輛による避難先までのピストン輸送)の見直しを行い、両法人と災害時の協定を締結することになるが、様々な課題が山積しているため、県や市と協議しながら進めたい。

## (3) 事業継続計画(BCP)策定

施設の事業継続計画(BCP)策定に向け、令和4年12月よりワーキンググループを立ち上げ、協議を開始した。先ずは救護施設おぐに荘をモデルケースとした事業継続計画(BCP)策定案を作成し、その案を軸に令和5年度末までに、順次各施設・事業所の事業継続計画(BCP)を策定する。なお、ワーキンググループでは、新型コロナウイルス感染症における事業継続計画(BCP)も策定するとともに、各事業所の運営規程にこの事業継続計画(BCP)を明文化して、災害時、感染時に備える予定としている。

## 8 将来に向けた検討

### (1) 救護施設の将来に向けた方向性の検討

救護施設(かしわ荘・おぐに荘)が共通で抱える利用者減少による経営悪化と建物・設備の老朽化という課題に対し、種別会議を定期的に行い、法人本部と将来の方向性を協議した。その結果、2つの救護施設を統廃合することとし、令和5年度より新潟県及び実施機関と調整しながら進めていくこととした。

### (2) 養護老人ホームの改築に向けた協議の継続

養護老人ホーム御山荘は、建物の老朽化や急激な措置入所者の減少により、赤字経営になっていることから、令和4年6月21日に柏崎市、長岡市、刈羽村に対し、措置費増額を要請した結果、令和5年度より消費税増額分(年間約3,000千円)を上乗せすることとなった。また、今後も入所者増え見込めないことから、令和5年2月13日の理事会において、令和5年4月1日より利用者定員80人を、60人に変更することを決定した。なお、この入所定員減に伴い引き続き赤字経営が見込まれることに加え、建物老朽化による雨漏りなど、入所者の安全確保が難しい状況になりつつある。そのため、柏崎市と協議し、令和5年度早々には、今後の養護老人ホームの方向性について、結論を見出したい。

### (3) デイサービス事業の検証

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、特にむつみ荘・しおかぜ荘のデイサービスの利用率低下が顕著であったため、日曜休業について検証した。その結果、日曜日の利用者を他の曜日に移行することで収入に影響がなく、代わりに職員配置数や車両燃料費等といった固定費削減により経営改善が見込めた。そのため、日曜休業を試行し、令和5年2月13日の理事会で議決して令和5年度より両センターを日曜休業とする。また、デイサービスセンターの利用率の向上が難しい状況から、将来の事業展開を模索していくこととした。

### (4) 柏崎市北地域包括支援センター事業の在り方の再検証(にしやま廃止)

柏崎市の受託事業である北地域包括支援センター「にしやま」について、累積赤字となっていたため、令和3年度より「委託費増額」や「はらまちとの統合」を提案し協議を行った。その結果、委託費増額及び統合が見込めなかつたことから、令和5年3月14日の理事会で議決し、委託契約期間が満了となる令和5年3月31日をもって事業を廃止した。ただし、「はらまち」については、令和5年度も柏崎市と契約を締結し、事業を継続する。

## 9 その他

### (1) 新型コロナウイルス感染防止対策による補助金申請等

令和4年11月に御山荘において、新型コロナウイルス感染症の集団感染があり、結果的に利用者28名、職員8名が罹患したことから、この感染対策に必要なマスク(N95)や感染防止用のガウン、空気清浄機といった物資を購入した。その費用について、新潟県に「新型コロナウイルス感染症流行下緊急サービス提供体制時確保事業費補助金」を令和5年1月13日に申請し、1,021千円の補助金を受けた。

#### (2) 光熱費等高騰による補助金申請等

電気・ガス料金の高騰が続く中、市内の福祉施設等の事業継続を支援するため、柏崎市は「介護・障害福祉施設等物価高騰対策支援金」制度を新設した。これを受け、令和4年8月16日と令和4年12月8日の2回にわたり、交付申請を行い、法人施設(むつみ荘、しおかぜ荘、なごみ荘、まつみ、御山荘)で1,000千円(限度額)の支援金を受けた。同様に刈羽村でも「介護・障害者事業所に対する電気・ガス料金支援事業補助金」制度が新設され、令和5年2月27日に補助申請を行い、刈羽村の利用者定員枠のある法人施設(むつみ荘、なごみ荘、御山荘)で、利用者定員按分による補助金約355千円を受けた。

#### (3) 食料品等高騰による補助金申請等

柏崎市は、食料品等の高騰が続く中、市内の福祉施設等が利用者にその食費の価格を転嫁することなく、栄養バランスや量を保った食事の提供を支援するため、「介護・障害福祉施設等食料品等価格高騰重点支援金」制度を新設した。これを受け、令和5年2月2日に交付申請を行い、法人施設(むつみ荘、しおかぜ荘、なごみ荘、まつみ、ケアハウスしおかぜ、御山荘)で10,159千円の支援金を受けた。なお、上記(1)から(3)に記載の新型コロナウイルス感染症に関する補助金や光熱費及び食料品等の支援金等において、救護施設が何れも対象外となっていることから、今後、救護施設への拡充について、関係団体等を通じて、新潟県や柏崎市等に要望していく。

#### (4) 債権放棄と徴収不能額の計上

平成27年5月10日にしおかぜ荘を死亡退所したK様の債権124,639円(平成27年2月から5月利用料)について、K様の身元引受人から介護記録の開示請求を受けるなど、法人では7年以上にわたり、身元引受人に利用料の請求書、督促状を送付し続けてきた。しかし、本人が死亡していること、介護記録開示から6年以上が経過し、連絡が取れず回収できていないこと、損害賠償請求権の時効は原則3年であること、債権額が法人規模からすると少額であること、職員の労力・負担が大きいことから、顧問弁護士と協議した結果、債権放棄する時期との判断に至った。令和4年12月13日の理事会で提案し議決となり、令和5年1月4日付で身元引受人に内容証明郵便により通知した。なお、令和5年3月補正予算では、この債権額を徴収不能額に計上し、令和5年3月31日に会計(伝票)処理した。

#### (5) 大雪による影響等

令和4年12月19日朝方より大雪となり、国道8号では車の立ち往生が相次ぎ、柏崎市内各所で大渋滞が発生するなど、大きな影響を受けた。当法人施設では道路の除雪状況から送迎が困難と判断し、むつみ荘デイサービスセンターが19日と20日、なごみ荘デイサービスセンターが19日を臨時休業とした。また、複数の職員が就業開始時間までに到着することが出来なかつたため、入浴業務を中止した。更に一部の施設では、業者が食材を納品することが出来ず、利用者の食事を非常食に変更するなどの対応に追われた。その他、電話回線の不通、断水、停電、倒木などの大きな被害を受けたことから、1月施設長会議において、反省点や課題を抽出し、この災害を教訓として記録することを確認した。今後の事業継続計画(BCP)の策定に生かしていきたい。

### 10 施設整備の実施

施設事業報告による。

### III 理事会・評議員会等の開催状況

#### 1 理事会(定数6~8名／総数7名)

注 出席状況の( )内は監事の出席人数

開催年月日	出席状況	付議事件別の件数						
		定款変更	予算・決算関係	例規制定・改廃	入札等・契約関係	人事関係	その他	計
令和4年6月7日	5名 (2)		1	1		1	1	4
令和4年6月24日	7名 (2)		1	1	1			3
令和4年9月27日	7名 (2)		1	1	3			5
令和4年11月15日 (書面決議)	7名 (2)				1		1	2
令和4年12月13日	7名 (2)		1	1			1	3
令和5年2月13日	7名 (2)			5		1		6
令和5年3月14日	7名 (2)		2	8	1	2	1	14
計		0	6	17	6	4	4	37

#### 2 評議員会(定数7~9名／総数8名)

令和4年6月24日	8名 (2)		1					1
令和4年12月13日	8名 (2)	1						1
令和4年3月27日	8名 (2)			1		1		2
計		1	1	1		1		4

#### 3 評議員報告会

令和4年6月24日	8名 (2)	新型コロナウイルス感染症対応、職員採用状況等
令和4年12月13日	8名 (2)	令和4年度事業計画及び資金収支予算執行報告等
令和5年3月27日	7名 (2)	令和5年度事業計画及び資金収支予算等

## IV 監査等の実施状況（実施日及び監査対象等）

### 1 法人監査

#### (1) 法人監事監査

令和4年5月25日 令和3年度決算監査(法人)

#### (2) 法人内部監査員監査(経理監査)

令和4年5月6日から11日 令和3年度決算内部監査

#### (3) 法人内部監査員監査(業務監査)

10月に実施を予定していた法人内部業務監査は、法人内の施設において新型コロナウイルス感染症の集団感染、職員の感染が発生したため、措置施設、介護保険施設ともに中止とした。居宅介護支援事業所は新型コロナウイルス感染症の影響が少ないとから11月11日にしおかぜ荘地域交流室で実施した。

### 2 監事との意見交換会

11月25日に実施を予定していた中間監事監査は、法人内の施設において新型コロナウイルス感染症の集団感染、職員の感染が発生したため、監事との意見交換会に変更した。法人が直面する諸課題について監事、理事長、常務理事、法人本部職員で意見交換を行った。

### 3 新潟県指導監査等

#### (1) 介護保険施設等の運営指導の実施

令和4年7月26日 特別養護老人ホームなごみ荘

改善を要し報告を求める事項として、ショートステイ利用後にデイサービスを利用した際、送迎減算を請求すべきところ、誤って同一建物減算としていたことから、請求権が消滅(時効)となる過去5年間に遡って、再請求するよう指導があった。その結果、12件(9名分)が確認され、国保連に介護報酬分4,347円を、利用者には自己負担分1,453円を再請求することとなった。しかし、利用者の自己負担分については、既に亡くなっている方が多いこと、また、ご家族に不快な思いをさせたくないこと、更には、ほとんどの利用者が50円程度の少額な請求であることから、定款施行細則第8条第1項第3号により、理事長決裁にて、請求せず債権を放棄することとして、令和5年2月21日、新潟県に改善報告書を提出した。なお、この債権放棄については、新潟県より、法人の判断で構わないという回答を得た。

#### (2) 介護保険施設等の運営指導及び指導監査の実施

令和5年1月23日 特別養護老人ホームしおかぜ荘

「運営指導」及び「指導監査」が同時に行われ、改善を要し報告を求める事項として、「(夜間想定の)避難訓練を1回以上」行うことが義務付けられているものの、令和3年度は1回しか行っていないことを指摘された。例年であれば2回以上、避難訓練を実施しているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の施設内感染と重なり、実施できなかった。令和5年3月27日、新潟県に年2回以上の計画内容を記載し、避難訓練の実施記録を提出した。

### 4 年金事務所の立ち入り調査

令和4年6月29日 法人(本部)

指摘事項なし。

### 5 長岡労働基準監督署による労働条件の履行確保に関する調査

令和5年2月7日 軽費老人ホームケアハウスしおかぜ

正職員に対し、採用時の賃金、労働時間等の法定事項の書面交付がなされていないと指摘があり、令和5年4月の新採用職員から実施する事を説明し、是正報告の提出は求められなかった。

## V 法人登記の状況

令和4年6月27日

資産総額の変更 39億9946万6326円

## VI 苦情・事故・ヒヤリハットの状況

詳細は「平成4年度 苦情・事故のまとめ」のとおり

区分 年度	苦情・意見・要望	事故	ヒヤリハット
令和3年度	4	70	658
令和4年度	12	85	589
増減	8	15	-69

## VII その他

### 1 職員の状況

	退職 (内定年等)	採用 (内正職登用)
正職	12(3)	18(4)
準職員	13	6
パート	18	10
計	43(3)	34(4)

### 2 生計困難者の利用者負担の軽減(平成17年9月までは減免)額及び助成額

区分 年度	法人が軽減した額	市町村からの助成額
平成13年度から 令和2年度までの累計	20,196,837円	2,515,000円
令和3年度	1,366,800円	0円
令和4年度	1,297,632円	0円

### 3 職員の資格取得状況(4月1日現在)

資格 年度	社会福祉 主事	社会 福祉士	精神保健 福祉士	介護 福祉士	介護支援 専門員	看護職員	栄養士
令和3年4月1日	125(13)	32(0)	12(0)	204(47)	62(4)	34(8)	13(1)
令和4年4月1日	126(13)	32(1)	12(0)	207(48)	62(5)	32(8)	14(1)
増減	+1	0	0	+3	0	-2	+1

注 ( )内は準職員等の再掲

看護職員は保健師、看護師、准看護師の合計

### 4 施設の実習受入状況　述べ日数及び受入実人数

施設 年度	かしわ荘	おぐに荘	御山荘	むつみ荘	しおかぜ荘	なごみ荘	まつみ	計
令和3年度	20(2)	0(0)	0(0)	60(2)	39(3)	22(1)	16(2)	157(10)
令和4年度	5(1)	0(0)	0(0)	12(1)	111(7)	116(5)	5(1)	249(15)

注 ( )内は受入実人数

## VIII 施設利用の状況

### 1 施設別・月別入退所等の状況表

施設	救護施設かしわ荘(定員120)			牧護施設おぐに荘(定員60)			養護老人ホーム御山荘(定員80)			ケアハウスしおかせ(定員30)		
	月	初日在籍	入所	退所	定員充足率	初日在籍	入所	退所	定員充足率	初日在籍	入所	退所
4	128	1	106.7	63	105.0	65	1	61.3	27	1	1	90.0
5	127	2	105.8	63	105.0	66		82.5	27	1	1	90.0
6	126	1	105.0	62	103.3	66	2	82.5	27	1	1	90.0
7	126	1	105.0	61	101.7	65	1	81.3	27	1	1	90.0
8	125		104.2	61	101.7	64	1	80.0	27	1	1	90.0
9	125	1	104.2	61	101.7	64	2	80.0	26			86.7
10	124		103.3	61	101.7	62	2	77.5	26			86.7
11	124	1	103.3	61	101.7	60		75.0	28	2		93.3
12	123	1	102.5	60	100.0	60	1	75.0	28			93.3
1	121	4	100.8	57	95.0	60		75.0	28	2		93.3
2	118		98.3	57	95.0	60	1	75.0	27	1		90.0
3	118	2	98.3	58	96.7	59	1	73.8	28	1		93.3
計	1,485	1	13	725	2	8	751	6	13	326	7	6
平均	123.8	0.1	1.1	103.1	60.4	0.2	0.7	100.7	62.6	0.5	1.1	78.2
										27.2	0.6	0.5
												90.6

### 2 R5.3.31現在、実施機関(市町村)別状況

実施機関	町村	かしわ荘	おぐに荘	御山荘	ケアハウス	計
長岡市		26	23	2	51	51
三条市		3	1		4	6
柏崎市		49	14	50	27	140
小千谷市		2	1		3	2
加茂市		1	1		2	1
十日町市		6	1		7	7
見附市		1	1		2	1
燕市		5	3		8	3
糸魚川市		1			1	2
妙高市		1	2		3	2
五泉市		3			3	6
上越市		5			5	/
魚沼市		2	1		3	4
南魚沼市		5	3		8	8
新潟市中央						
新潟市北		1			1	6
新潟市西						
新潟市南			1			
新潟市秋葉						
新潟市江南		1			1	
新潟市西蒲		2			2	
三条地域	田上町	1		1		
長岡地域	出雲崎町	1		1		
	刈羽村	1	6	1	8	
南魚沼地域	津南町	1	1	2		
利的・制約		2		2		
合計	116	57	58	28	259	

### 3 入退所理由の状況

入所	かいわ荘			おぐに荘			御山荘			ケアハウス		
	居宅	病院	施設	その他	計	居宅	病院	施設	死亡	その他	計	居宅
一時的入所(緊急受入、体験入所等)	日数/件数	70/9	108/9	施設利用アパート、施設休憩、次の生活場所が決まるまでの一時避難	/	/	/	/	/	/	/	/
理由	1件当たり日数	3	3	3	3	13	8	13	6	6	6	6

### 4 通院・入院の状況

通院の状況	かいわ荘			おぐに荘			御山荘		
	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均
年令	649	42	49	100	61	67	1,416	21.0	33.7

### 5 R5.3.31現在、年令・入所期間の状況

入所の状況	かいわ荘			おぐに荘			御山荘		
	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均
入所期間平均	22.8	18.7	20.5	64	50	5.0	86.3	61	5.0

特別養護老人ホーム(R4年度実績)

1 施設別・月別入退所等の状況表

施設 月	特別養護老人ホームmuつみ荘(定員115)					特別養護老人ホームしおかぜ荘(定員70)					特別養護老人ホームなごみ荘(定員80)												
	入所	退所	要介護度別在所者数			延利用者数	入所	退所	要介護度別在所者数			延利用者数	入所	退所	要介護度別在所者数								
		1	2	3	4	5	計		1	2	3	4	5	計		1	2	3	4	5	計		
4	6	2	2	17	44	34	97	2,801	1	2	8	40	21	69	1,954	1	2	7	40	31	80	2,355	
5	6	2	2	16	45	35	98	2,880	4	3	8	38	24	70	2,014	2	3	2	6	39	34	81	2,384
6	2	1	2	16	46	34	98	2,911	2	3	8	40	22	70	1,968	3	1	2	7	39	31	79	2,312
7	2	1	2	16	48	34	100	3,019	2	2	8	42	20	70	2,061	1	4	2	7	40	31	80	2,387
8	3	3	2	16	48	34	100	3,031	1	1	8	40	21	69	2,103	2	3	2	7	42	27	78	2,403
9	4	1	2	17	51	32	102	2,936	2	2	9	38	22	69	1,989	5	2	2	6	45	28	81	2,335
10	1	6	1	19	48	32	100	3,028	2	1	10	38	22	70	2,069	3	2	2	6	44	29	81	2,373
11	2	2	1	18	50	29	98	2,823	2	1	10	39	22	71	2,028	2	2	2	6	43	30	81	2,297
12	1	3	1	18	47	31	97	2,913	2	4	9	38	24	71	2,091	2	4	2	5	46	27	80	2,333
1	2	1	1	19	43	31	94	2,820	2		10	36	23	69	2,126	3	4	2	6	44	26	78	2,305
2	2	5	1	19	42	31	93	2,496			11	36	23	70	1,944	3		2	6	44	28	80	2,193
3	4	4	1	20	43	32	95	2,766			11	36	23	70	2,166	1	2	6	43	29	80	2,408	
計	29	35	17	211	555	389	1,172	34,424	20	19	110	461	267	838	24,513	26	27	24	75	509	351	959	28,085
平均	2.4	2.9	1.4	17.6	46.3	32.4	97.7	82.0%	1.7	1.6	9.2	38.4	22.3	69.8	95.9%	2.2	2.3	2.0	6.3	42.4	29.3	79.9	96.2%

2 入退所理由の状況

区分	むつみ荘	しおかぜ荘	なごみ荘					
			市町村	1	2	3	4	5
居宅	16	7	柏崎市	19	38	29	86	11
病院	1	4	長岡市	1	2	3		2
老人保健施設	7	3	出雲崎町	1	1	2		6
その他の介護保険施設	4	5	刈羽村	1	1	2		42
養護老人ホーム	1	2	南相馬市(福島)				1	1
障害者施設		1	埼玉県上尾市(住所地特例)					
救護施設			計	20	41	32	93	11
退所	29	20	居宅	1	2	3	4	5
老人保健施設	1	3	病院	1	3	2	2	1
死亡(うち看取り)	34	16	死亡	(20)	(12)	(20)		
なごみ荘	4.2	4.2	計	35	19	27		

11

4 R5.3.3現在平均介護度

むつみ荘	4.1
しおかぜ荘	4.2
なごみ荘	4.2

5 R5.3.3現在入所申込数(待機者数)

むつみ荘	405
しおかぜ荘	465
なごみ荘	552

6 布置入所の状況(特養・短期)

(日/件数)	(理由)
むつみ荘	0
しおかぜ荘	0
なごみ荘	0

7 居宅介護支援事業所

R5.3.3利用実人数	89
しおかぜ荘	145

短期入所生活介護(R4年度実績)

1 区別利用実人数

施設	特別養護老人ホームむつみ荘					計
	要支援	要介護				
月	1	2	3	4	5	
4	1	16	19	18	14	4
5	1	18	19	20	14	2
6	3	17	19	16	12	4
7	2	22	17	18	16	3
8		19	18	17	16	3
9		21	17	18	16	3
10	1	19	17	17	16	4
11	1	15	19	15	17	4
12	1	12	18	20	13	3
1		13	21	18	16	5
2		14	18	20	14	3
3		1	12	23	19	12
計	9	5	198	225	216	176
%	1.0	0.6	22.7	25.8	24.8	20.2
						100
						3.0
						18.1
						30.4
						27.7
						8.1
						12.6
						100

施設	特別養護老人ホームなごみ荘					計
	要支援	要介護				
月	1	2	3	4	5	
4	1	16	19	18	14	4
5	1	18	19	20	14	2
6	3	17	19	16	12	4
7	2	22	17	18	16	3
8		19	18	17	16	3
9		21	17	18	16	3
10	1	19	17	17	16	4
11	1	15	19	15	17	4
12	1	12	18	20	13	3
1		13	21	18	16	5
2		14	18	20	14	3
3		1	12	23	19	12
計	9	5	198	225	216	176
%	1.0	0.6	22.7	25.8	24.8	20.2
						100
						3.0
						18.1
						30.4
						27.7
						8.1
						12.6
						100

2 区別利用延人数

施設	特別養護老人ホームなごみ荘(定員20)					計
	要支援	要介護				
月	1	2	3	4	5	
4	6	80	115	133	103	24
5	6	4	82	129	133	104
6	10	4	101	132	105	84
7	9	119	128	117	112	40
8		105	133	122	122	33
9		109	106	98	126	13
10	2	8	110	141	98	130
11	3	63	133	83	110	42
12	2	66	145	120	104	31
1		59	140	131	141	25
2		64	100	164	97	12
3		14	65	156	139	85
計	35	33	1,023	1,558	1,443	1,318
%	0.6	0.6	17.7	27.0	25.0	22.8
						6.2
						100
						79.0%
						2
						18.0
						33.1
						10.6
						100
						16.1
						80.6%

通所介護事業所(R4年度実績)

1 区別利用実人数

施設	特別養護老人ホームむつみ荘					計
	要支援		要介護			
月	1	2	3	4	5	
4	1	14	24	9	4	56
5	1	14	21	11	5	56
6	1	14	21	11	4	54
7	1	16	19	11	5	58
8	1	15	19	11	5	58
9	1	15	16	12	6	57
10	1	16	18	12	7	61
11	1	13	20	12	6	59
12	1	14	17	12	4	55
1	1	14	15	13	5	53
2	1	14	13	14	3	51
3	1	12	13	14	5	52
計	10	11	171	216	142	596
%	1.5	1.6	25.5	32.2	21.2	8.8
	1.1	10.4	32.9	26.3	12.2	8.0
	9.1	100				

13

施設	特別養護老人ホームしおかぜ荘(定員20)					計
	要支援		要介護			
月	1	2	3	4	5	
4	2	79	142	66	22	33
5	3	85	141	78	29	31
6	3	88	128	73	18	20
7	4	102	138	79	25	27
8	4	93	151	77	18	42
9	4	97	114	74	27	47
10	4	97	140	85	29	41
11	3	4	61	137	73	27
12	2	3	67	95	73	25
1	4	2	86	103	76	13
2	4	2	90	87	84	16
3	4	2	95	90	99	32
計	35	41	1,040	1,466	937	281
%	0.8	1.0	24.8	35.0	22.4	6.7
						94.1%
						61.1%
						49.0%
						0.2
						4.0
						27.2
						37.3
						21.9
						1.6
						7.9
						100
						65.0%

2 区別利用延人数

施設	特別養護老人ホームなごみ荘(定員25)					計
	要支援		要介護			
月	1	2	3	4	5	
4	2	79	115	4	46	146
5	3	85	118	4	40	139
6	3	88	126	4	33	127
7	4	102	122	4	34	138
8	4	93	126	4	33	141
9	4	97	114	74	27	369
10	4	97	140	85	29	31
11	3	4	61	137	73	29
12	2	3	67	95	73	28
1	4	2	86	103	76	13
2	4	2	90	87	84	16
3	4	2	95	90	99	32
計	35	41	1,040	1,466	937	281
%	0.8	1.0	24.8	35.0	22.4	6.7
						94.1%
						61.1%
						49.0%
						0.2
						4.0
						27.2
						37.3
						21.9
						1.6
						7.9
						100
						65.0%

施設	特別養護老人ホームなごみ荘(定員20)					計
	要支援		要介護			
月	1	2	3	4	5	
4	1	7	16	13	6	54
5	1	7	18	15	7	60
6	1	6	17	15	7	66
7	1	5	19	13	8	58
8	1	6	18	13	7	54
9	1	5	17	14	7	52
10	1	5	18	15	6	52
11	1	5	18	13	6	51
12	1	5	19	12	6	51
1	1	5	16	13	5	46
2	1	5	13	14	5	43
3	1	4	16	14	6	46
計	3	27	188	250	145	14
%	0.4	3.8	26.6	35.4	20.5	2.0
	1.1	10.4	32.9	26.3	12.2	8.0
	9.1	100				
						11.3
						100

施設	特別養護老人ホームなごみ荘(定員20)					計
	要支援		要介護			
月	1	2	3	4	5	
4	1	1	14	23	13	1
5	1	1	12	27	11	1
6	1	2	13	24	10	2
7	1	2	14	23	11	1
8	1	2	14	22	11	1
9	1	2	13	23	13	1
10	1	2	13	21	13	1
11	1	2	13	20	14	1
12	1	2	12	20	14	1
1	1	2	12	18	15	1
2	1	2	12	18	15	1
3	1	2	12	18	15	1
計	1	2	12	18	15	1
%	0.4	3.8	26.6	35.4	20.5	2.0
	1.1	10.4	32.9	26.3	12.2	8.0
	9.1	100				
						11.3
						100

地域密着事業所まつみ(R4年度実績)  
小規模多機能型居宅介護(小規模ホーム)

1 区別利用実人数(登録員29名)

月	施設	要支援					要介護					計
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
4	1	1	7	8	7	1	24					
5	1	1	4	10	8	2	25					
6	1	4	11	7	2	25						
7	2	4	11	7	2	26						
8	2	4	10	7	2	25						
9	2	4	10	7	3	26						
10	2	5	9	5	2	1	24					
11	2	5	9	5	2	23						
12	2	6	8	5	1	22						
1	2	8	8	4	2	24						
2	2	9	8	4	3	26						
3	2	10	9	4	3	28						
計		21	70	111	70	2	24	298				
%		7.0	23.5	37.2	23.5	0.7	8.1	100				

認知症対応型共同生活介護(グループホーム)

1 施設別・月別入退所等の状況表(定員18名)

2 入退所理由の状況

月	施設	要介護度別在所者数					延利用者数
		1	2	3	4	5	
4	1	4	6	7	1	18	527
5	4	6	7	1	18	558	
6	4	6	7	1	18	540	
7	1	1	4	6	1	19	554
8		4	6	8	1	18	534
9		3	7	8		18	520
10		3	7	8		18	555
11		1	3	7	7	17	482
12		1	3	8	6	17	499
1		1	3	8	6	17	513
2		1	2	3	7	7	464
3		1	4	8	6	18	516
計		5	4	43	81	85	213
平均		0.4	0.3	3.6	6.8	7.1	95.3%

3 R5.3.31現在平均介護度

区分	人数
居宅	4
病院	

4 R5.3.31現在平均介護度	3.1
グループホームまつみ	2.1

月	施設	実人數					延人數					計
		要支援 1	2	3	4	5	要介護 1	2	3	4	5	
4	通い 泊り 訪問	30					1	6	8	7	1	24
5	通い 泊り 訪問	31					1	4	3	5	1	25
6	通い 泊り 訪問	30					1	2	4	5	1	25
7	通い 泊り 訪問	31					1	4	11	7	2	25
8	通い 泊り 訪問	30					1	2	5	4	1	25
9	通い 泊り 訪問	31					1	4	11	7	2	25
10	通い 泊り 訪問	31					1	4	11	7	2	25
11	通い 泊り 訪問	31					1	4	11	7	2	25
12	通い 泊り 訪問	31					1	4	11	7	2	25
1	通い 泊り 訪問	31					1	4	11	7	2	25
2	通い 泊り 訪問	31					1	4	11	7	2	25
3	通い 泊り 訪問	31					1	4	11	7	2	25
計		365					9	15	36	24	2	25
平均		0.4	0.3	3.6	6.8	7.1	0.3	17.8	95.3%	100	14	214

入所	その他介護保険施設	1
	計	5
退所	居宅	4
	病院	
	その他	
	計	4
	死亡	
	その他	
	計	4

# 柏崎市北地域包括支援センター(R4年度実績)

## I 包括的支援事業

### 2 権利擁護事業

(1) 相談実績		
相談実績	はらまち	にしやま
実人員	延人数	実人員 延人数
年間相談者数	352	396
計	278	357

#### (2) 相談受理(延人数)

相談方法	はらまち	にしやま	相談経路	はらまち	にしやま
電話	259	244	本人	40	46
来所	48	54	家族等	105	110
訪問	28	16	知人	7	15
文書	2	20	相談協力員	137	92
巡回	59	7	関係機関	107	88
その他		16	その他		6
計	396	357	計	396	357

#### (3) 相談内容別

相談内容	はらまち	にしやま
実人員	延人数	実人員 延人数
介護・日常生活に関する相談	299	365
サービスの利用に関する相談	19	19
医療に関する相談	6	6
所得・家庭生活に関する相談	3	4
高齢者・虐待に関する相談	2	2
権利擁護に関する相談	5	5
苦情相談		1
その他		6
計	334	401
	261	395

#### (4) 相談対応区分

対応実績	はらまち	にしやま
実人員	延人数	実人員 延人数
相談	305	781
情報提供	163	367
連絡調整	128	196
家庭訪問	137	271
病院等訪問	100	102
来所	21	23
その他	1	1
計	855	1,741
	999	2,650

## III 地域ケア会議の実施

対応内容	はらまち	にしやま
実人員	対応回数	実人員 対応回数
日常生活自立支援事業活用支援	3	12
成年後見制度の活用支援	5	12
虐待(疑い含む)への対応	2	6
消費者被害の防止	1	1
計	10	30
	11	38

## IV 介護予防ケアマネジメント事業

対応内容	はらまち	にしやま
回数	企画・打合せ	回数
地域ケア個別会議	3	12
地域ケア圏域会議	1	6
(モニタリング会議)	1	2
自立支援検討型会議	1	3
計	1	4